

# 2022 年度普及啓発事業の実施結果について

## 1 交流セミナーの開催

- 広く県民に向けて、障害に対する理解や配慮、コミュニケーション手段についての普及啓発を図るセミナー「手話言語・障害者コミュニケーション交流セミナー」を2022年9月18日（日）に開催した。
- 普段障害者と接する機会が少なく、関心が薄い層に参加してもらうため、中日新聞社が主催の医療健康に関する総合展「第10回中日健康フェア」（9月17日（土）～18日（日））内のプログラムとして開催し、他のプログラムと合わせて、中日新聞への掲載を中心とした広報活動を展開した。さらに幅広い層の県民に参加してもらうため、若年層に知名度が高く、障害へ理解のある著名人としてボーカル&手話パフォーマーHANDSIGNをゲストに招いた。
- 交流セミナーの様子（動画）を県HPにて公開予定（ゲスト HANDSIGN の出演箇所の一部を除く）。

### (1) タイトル

もっと身近に！手話や点字でコミュニケーション  
～みんなで、つながろう！学んで、世界を広げよう～

### (2) 日時

2022年9月18日（日） 10時30分～12時00分

### (3) 会場

ウインクあいち 小ホール

### (4) 参加者数

会場参加とあわせて動画配信を実施。ともに事前申込制。

- ・会場参加者数 80名（定員110名）  
定員を超える179名から応募があり、110名に当選を出したところ、実際に80名の参加があったもの。
- ・動画視聴者数 278名（定員300名）  
動画視聴回数 394回（専門部会委員等の視聴を含む）

### (5) 全体スケジュールおよび開催内容

時間	内容
10:00～10:30	（受付・開場中）HANDSIGN のミュージックビデオの放映
10:30～10:35	オープニング・主催挨拶 等
10:35～11:05	HANDSIGN トークショー「手話を通して、思い伝えよう」
11:05～11:45	みんなで学ぼう！さまざまな、コミュニケーション方法
11:45～12:00	今日から使える！手話レクチャー&ミニライブ

### (6) アンケート結果

（回答者数：会場参加者 70 名、動画視聴者 85 名、合計 155 名）

#### ○参加者の属性

##### ・年代

10～20代	11.7%
30代	2.0%
40代	17.0%
50代	34.0%
60代	28.8%
70歳以上	6.5%

##### ・障害のある方と関わる機会の有無

ある	27.7%
たまにある	31.0%
ほとんどない	20.6%
ない	16.1%
自身が障害の当事者	4.5%

## ○セミナーの理解度

- ・本セミナーに参加する前と比べて、それぞれの障害者コミュニケーション方法についての理解が深まったと思いますか？

（ そう思う	86.8%
（ そう思わない	12.6%
（ その他	0.7%

## ○セミナーの満足度

- ・本セミナーは有意義なものになりましたか？

（ 大変満足	48.7%
（ 満足	36.4%
（ 普通	9.7%
（ やや不満	5.2%
（ 不満	0.0%

## ○感想・意見等（抜粋）

- ・思った以上に障害はたくさんあり、それでも頑張っている方に少しでも手を差し伸べる事のできる人になりたいと心から思いました。学び始めた手話をもっと勉強します。
- ・ハンドサインをもともと知っており、一緒に手話を通してダンスを楽しめた。知らなかった障害について学べて生かしていきたいと思った。
- ・聴覚以外の障害者に対する接し方がたいへん参考になりました。ハンドサインさんたちが加わり、とかく堅苦しくなりがちな講演会が和み、視聴者に分かりやすくなったと思います。
- ・手話や点字の紹介だけでなく、視覚障害や盲ろうの方の生活など、幅広く紹介されていたのがよかった。
- ・様々な特性の方を動画で示してくださり、わかりやすかったです。
- ・必ずしも手話ができる方ばかりでないことやコミュニケーションの取り方の実情など、知らなかったことがわかったこと、また、ダンスと手話の実技が楽しかった。
- ・インターネット視聴でも手話や要約筆記の場面が同時に見えたらよかったと思った。
- ・実践的な手話を学べることを期待していた。活動内容は素晴らしいと思った。ただ手話をもっと実際に勉強できると期待していたので物足りなかった。

## 2 条例説明リーフレットの増刷・配布

手話言語・障害者コミュニケーション条例について改めて県民に周知するため、2016年度に作成した説明リーフレットを増刷、配布した。

## (1) 増刷・配布部数

24,000部

## (2) 配布先

・ 県内市区町村	7,000部	・ 関係団体（11団体）	1,100部※1
・ 市区町村社会福祉協議会	5,600部	・ 県機関	1,700部
・ 県内大学（30大学）	3,000部※2	・ 県障害福祉課	5,600部

計 24,000部

※1 関係団体（11団体）へは、一律に100部ずつ配布した上で、イベント等で啓発に協力いただける機会があれば、随時、必要枚数を配布。

※2 県内大学へは2016年度には配布しなかったが、今年度の委員からの意見を受けて、教員志望の学生向けとして配布。

## (3) その他

- ・配布先で効果的に使用していただけるよう、配布時の鑑文に今回配布の趣旨等を記載した。
- ・県ホームページにおいて、条例制定後の普及啓発等の取組内容を掲載し、リーフレットのQRコードからアクセスできるようにした。